

「世界との出会い」 in 北九州

■ 講師プロフィール

マイケル・シャノン | Michael Shannon



アメリカ人初のボルショイバレエアカデミー卒業生。ボルショイ・バレエ団、バーミンガム・ロイヤル・バレエ、ウィーン国立バレエ団、ハンガリー国立歌劇バレエ団、クレムリン宮殿バレエにてプリンシパルダンサーを務める。2006年、グリニッジ・バレエ・アカデミーの共同創立者として学部長に就任。2008年度のユース・アメリカ・グランプリ(YAGP)にて振付家賞を受賞。2008年にはAmerica's Configuration Dance Theaterのレジデンスコレオグラファーになり、2008年、2009年、2010年度のArtvoice Best Dance Companyを受賞。2010年～2014年、アントワープ・ロイヤル・バレエ学校芸術監督。

エリカ・トライベット | Erica Trivett



オレゴン・バレエ・シアター、ジュネーヴ大劇場バレエ団、グルベンキアン・バレエ、タンツテアター・バーゼル、ジゼラ・ロカ・カンパニー、アリアス・カンパニー、コペンハーゲン・インターナショナル・バレエ、カンパニー・トーア、ロイヤルデンマークオペラなどで活躍。ルイ・ホルタ、ナチョ・デュアト、アマンダ・ミラー、オハッド・ナハリン、イリ・キリアン、ミシェル・ケレミニ、パスカル・リオール、トワイラ・サーブ、ティエリー・スミス、ラース・カールンド、ティモシー・カウチマンなど数多くの振付家と仕事をする。P.A.R.T.S や他ダンスカンパニーにてバレエ教師、フェルデンクライス・メソッドを応用したコンテンポラリーダンスを指導する。フェルデンクライス・メソッド国際公認資格を有す。

トム・ヴェクスレール | Tom Weksler



幼少から武術や様々なアクロバットのトレーニングを受ける。2009年にThe Workshop For Dancers and Choreographers in Haifaを卒業。2010年よりインバル・ピント&アブシャロム・ポラックダンスカンパニーに所属。カンパニーの作品を世界中の劇場やフェスティバルで踊ってきた。現在はRootlessroot(Jozef FrucekとLind Kaperneaによるユニット)振付、Dot504プロデュースの『Collective Loss Of Memory』の世界ツアー公演に参加しており、2014年に振り付けたデュエット作品『SARU』も現在世界ツアーにて上演中。トムのワークショップは、世界中のダンススクール、サーカススクール、道場そしてプロフェッショナルなカンパニーなどで開催されており、テルアビブ、アムステルダム、アテネ、ロンドン、コペンハーゲン、ベルリン、ミラノ、アントワープ、ボストン、サンフランシスコ、京都、東京などの都市があげられる。